

科目名	登記法Ⅱ	
担当者	中藺 博史 / NAKAZONO, Hiroshi	
科目情報	法律 / 選択 / 後期 / 講義 / 2単位 / 3年次	
科目概要	授業内容	本講義では、商業登記法に基づき商業登記制度全般について説明する。商法総論・総則、会社法Ⅰ（企業組織法務Ⅰ）、会社法Ⅱ（企業組織法務Ⅱ）を履修している事を前提に講義を行う。
	到達目標	商業登記法の存在意義・役割を理解した上で、商業登記簿から権利関係を読み取る力を養う事を目標とする。 司法書士試験合格に必要な知識の修得を到達目標とする。
授業計画	(1) 商業登記制度の意義 (2) 商業登記簿 (3) 登記手続の通則 (4) 商号の登記、未成年者及び後見人の登記、支配人の登記 (5) 株式会社の登記 (1) 一設立の登記① (6) 株式会社の登記 (2) 一設立の登記② (7) 株式会社の登記 (3) 一本店移転の登記変更の登記 (8) 株式会社の登記 (4) 一役員・商号・目的変更の登記 (9) 株式会社の登記 (5) 一募集株式発行等による変更の登記 (10) 株式会社の登記 (6) 一解散・組織変更の登記 (11) 株式会社の登記 (7) 一合併・分割の登記 (12) 合名会社・合資会社の登記 (13) 合同会社・外国会社の登記 (14) 登記の更正及び抹消（審査請求含む） (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・授業の初めに前回までの小テストを行う。
使用教材・参考文献	【教】竹下貴浩『デュープロセス』早稲田経営出版 2009年 【参】長瀬二三男『私法概論』一橋出版 2006年	
成績評価方法と基準	<評価方法>試験結果のみで判定する。 <評価基準>受講態度に問題がない場合は、司法書士試験と同程度の試験問題で50%以上の正解を合格とする。	
備考	履行条件：商法総論・総則、会社法Ⅰ（企業組織法務Ⅰ）、会社法Ⅱ（企業組織法務Ⅱ）を履修している事。	